取扱説明書

保管用

(Y158A) A

屋外用・LED Footlight（足下灯）

（防雨型・壁面埋め込み専用）

ご使用になられる前にお読みください

この取扱説明書は取り付け方や光源ユニットの交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕 様

品 番	光源ユニット	使用電圧
AD-2402	WW-1104L（電球色）	AC100V(±6%)

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警 告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注 意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

● 取り付け・取り扱い上の注意

⚠ 警 告

❗ 光源LEDを長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分ご注意ください。

⃠ 一般屋外用器具（防雨型）です。
振動や衝撃の多い場所、腐食性のガスの発生する場所、海岸隣接地帯（塩害地域）では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒、落下、破損によるけがや漏電、感電事故の原因となります。

⃠ 次のような場所には取り付けないでください。
●壁面以外の場所（床面や土中埋設はできません）　●冠水する恐れのある場所　●雪で器具が埋没する場所
●背面から漏水の可能性のある場所　●凸凹のある面
★防水性が損なわれ、器具の破損による器具漏電、感電事故の原因となります。
●浴室など湿気の多い場所　●サウナへの使用
★器具破損によるけがや漏電、感電事故の原因となります。

⃠ 設置の際は、指定方向以外の向きに取り付けないでください。
★防水性能が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。また器具の破損、焼損の原因となります。

⃠ 濡れた手で作業しないでください。
★感電の原因となります。

⃠ ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⃠ 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠ 注 意

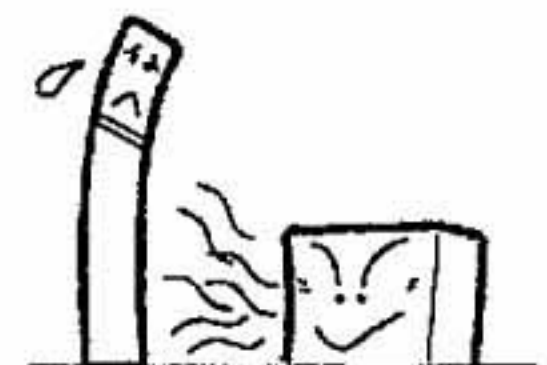
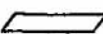
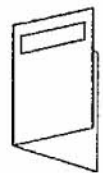
❗ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となることがあります。
★定格電圧（100V）以外で使用した場合、光源ユニット定格寿命（40000h以上）が短くなることがあります。

❗ この器具は周辺温度－20℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火、光源ユニット寿命短縮の原因となります。

⃠ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、照明器具の故障の原因となります。

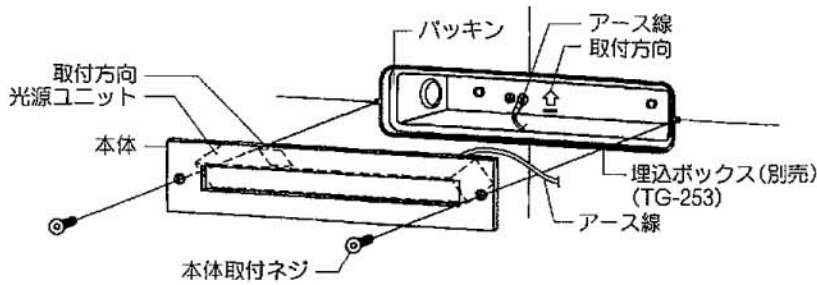
⃠ ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常加熱による、器具の故障や破損の原因となります。

⃠ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

各部の名称

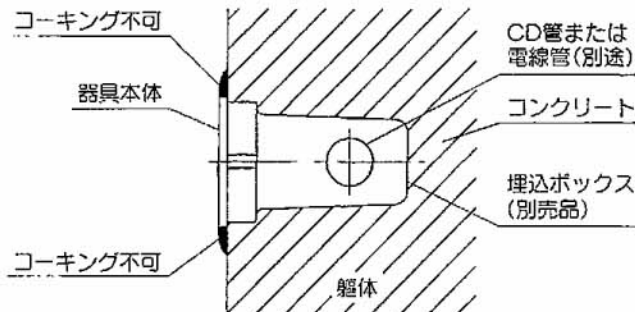
（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

■器具構成図

■付属品

本体取付ネジ、六角レンチ、自己融着テープは、本体内面にポリ袋にて同梱してあります。
開梱時に紛失しないようご注意ください。

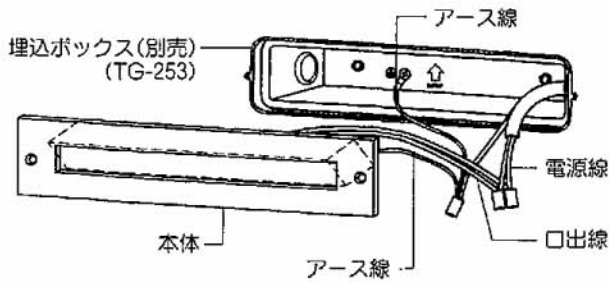
取り付け場所の確認

⚠ 注 意

この器具の取り付けには、専用埋込ボックスTG-253（別売品）が必ず必要です。
あらかじめ別途ご用意ください。
あらかじめ専用埋込ボックス（TG-253）を器具取付面に埋め込んでおいてください。
凸凹のある壁面には取り付けないでください。
★防水性能を保つため、仕上面と埋込ボックス本体取付面を必ず同一面に仕上げてください。
器具本体フレームと躯体はコーキング等しないでください。
★水抜孔が塞がれ絶縁不良、腐食の原因となります。

取り付け方

⚠注意 ❶ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警 告 ❶ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

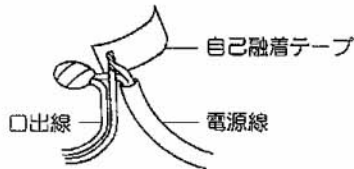
(図1)

1.電源線を接続します。(図1)(図2)

- D種接地工事(アース工事)を施してください。
  D種接地工事(アース工事)は、電気設備技術基準に従って確実に行ってください。

⚠ 注 意
- アース線は埋込ボックスと本体の両方に取り付けされています。必ず両方のアース線を接地(アース)してください。
  ★接地(アース)が不完全な場合は、感電、漏電の原因になることがあります。

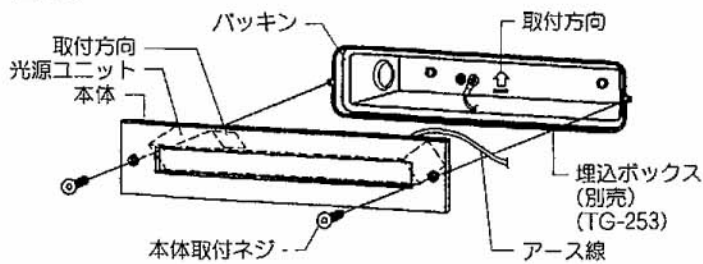
- 器具口出し線と電源線をスリーブなどで圧着したあと、裸線が見えない様に、自己融着テープでしっかりと巻き付けた上、絶縁テープを巻いてください。

★不良の場合、火災や感電、漏電の原因となります。

(図2)

2.本体を取り付けます。(図3)

- 埋込ボックスに本体を取付ネジ2本で確実に取り付けます。
  (付属の六角レンチを使用してください。)
  その際、隙間や取付穴にゴミや砂などがかまないよう注意して取り付けてください。

⚠ 注 意
- 器具の取り付けには方向性があります。本体表示に従って行ってください。
  ★指定方向以外の取り付けを行うと、落下、感電、火災の原因となります。

(図3)

お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

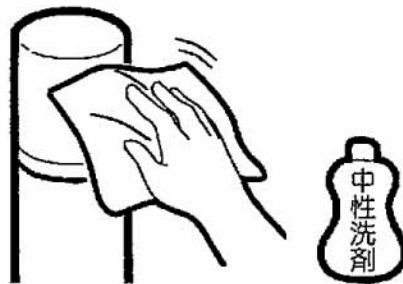
●こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れてくると、暗くなり、しかも電気代は変らないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。

⚠注意

❗ ●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから行ってください。
★感電事故の原因となります。

⊘ ●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆お手入れのしかた

①スイッチを切ります。
②柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
③汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
④最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■光源ユニットの交換

⚠注意 ❗ この器具は、構造上お客様が光源ユニットを交換することができません。
メンテナンスの際は、別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。